

令和4年第2回定例会

(6月21日)

一般質問資料

(1回目)

自由民主党千葉進取の会
向後保雄

令和4年 第2回定例会（6月21日）

2回目から一問一答

通告時間：20分（30分）

こんにちは、

子どもたちに輝く夢と未来を！

そして、創造豊かな市政への挑戦！をモットーにします、自由民主党千葉進取の会の向後保雄でございます

通告に従いまして一般質問を行います

1. 千葉中央コミュニティセンターの減築について

初めに、千葉中央コミュニティセンターについてですが、1974年に建築されて以来47年が経過しました。4階から6階までを中央コミュニティセンターとして市民の文化活動やコミュニティ活動の場となっており、25mプールや体育館、剣道場・柔道場もありスポーツ施設としても大きな役割を担ってきました。6年前に伊藤忠商事の持ち分を取得し、千葉市単独の所有となっておりますが、如何せん老朽化が著しく、耐震性能もI_s値が0.55で、不足しており現行の建築基準法上、容積率が既存不適格となっているとの事で建直し等の整備が必要であると思います。一昨年民間活用の可能性があるかとのサウンディング調査をしたところ、手を挙げる企業がないとの事で、千葉市が主体的に建替え等を実施せざるを得なくなったと聞いております。そこで伺いますが、建直さずに減築する理由は何なのでしょう。

2. 町内自治会と民生委員について

次に、町内自治会と民生委員についてですが、千葉市は町内自治会を通して回覧物の配布を行っており、町内自治会は、ゴミステーションの維持・管理、防犯街灯の設置と維持・管理、防犯パトロールやセーフティウォッチャーによる子供たちの安全の見守り、災害時を想定した避難訓練、住民同士のコミュニティ連携強化のためのお祭り等、自分たちの街は自分たちで守っていこうとの思いで地域活動を担っております。住民自治と言われて久しいですが、最近では自治会役員の皆さんも高齢化が進み、しかもコロナ禍の為地域活動が出来なくなっており、自治会所属の会員同士の交流が薄れてきております。しかし、町内自治会と本市の連携は重要課題だと認識しております。そこで、伺いますが、各区の自治会加入率はどうなっているのか、過去3年間の推移についてお知らせください。

3. ウクライナの避難民の対応について

最後に、ウクライナの避難民の対応についてです。2月24日に突如としてロシアがウクライナに軍事侵攻をしてから間もなく4か月が経とうとしております。その間、国際連合人権高等弁務官事務所の発表によると4千人以上の民間人が殺害されていると聞いております。その影響で食糧危機、原油等エネルギー高となり世界各地で様々な被害が出ており国としても対応に追われているところではあります。先月5月14日(土)にチップスタードームにおいて、レインカラーズの松本卓也さんが「ひまわり」の上映会を開催し、日本ウクライナ友好協会クライヤニーの皆さんがボランティアで避難民の支援活動で手作りの支援グッズを販売、というか金額はいくらでもいいので募金として頂きたいですと言われたので、私もマスクや今胸に付けておりますがリボンも募金という形で買いました。この様に様々な被害対応の必要性が出てきておりますが、避難民を含め、ウクライナ国籍の外国人市民は現在千葉市には何人いるのか伺います。

以上で1回目の質問を終わります。ご答弁宜しく願いいたします。